

中国で産業用ロボットの「グローバル経営」を目指す 「安川(中国) 机器人有限公司」が生産開始

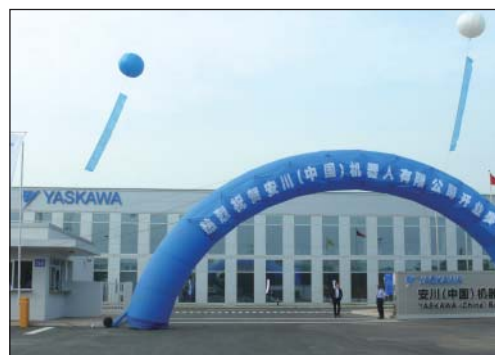
当社は中国でのロボット生産拠点として、江蘇省常州市に安川(中国) 机器人有限公司を昨年3月に設立し、2013年5月20日に生産を開始しました。

中国では、近年自動車関連市場を中心に自動化を目的としたロボット導入が加速しています。また、重量物搬送などきつい作業を伴う幅広い産業においてもロボット化の需要が急速に高まっています。当社は「需要地生産」の考え方にに基づき、中国の市場規模と今後の成長性の面から、中国におけるロボットの生産を開始しました。

当社が中期経営計画「Realize 100」で掲げる「グローバル経営の実現」に向け、ロボットの中国生産により、現地の市場に根ざしたベストな対応ができる体制を構築していきます。将来的には、中国国内だけでなくアジア諸国への産業用ロボットの供給も計画しています。

工場概要

事業内容	産業用ロボット(制御装置含む)の製造
生産能力	250台/月(2013年度9月)、1000台/月(2015年度予定)
規模	敷地面積: 52,000m ² 延べ床面積: 29,500m ²
従業員数	約400名(2015年度末)



開業式当日の
安川(中国)
机器人有限公司



開業式の
テープカット
(2013年6月22日)

北九州市制50周年記念「百万人の書」に書道ロボット出展 「愛」と「絆」を揮毫*する「やすかわくん」

* 毛筆で文字や絵をかくこと。

2013年8月8日～8月11日の4日間、北九州市西日本総合展示場で開催された「百万人の書 - 未来へつなぐ夢 -」展に、当社は毛筆で字を書く書道ロボットを展示しました。

北九州市制50周年を記念して書道家だけでなく市民も参加したこの書道展で、双腕ロボットの「やすかわくん」が書の腕前を披露することになりました。片手に持った筆を硯に注がれた墨汁に浸し穂先を整える様子は人間さながら、「とめ」や「はらい」の細かい動きで会場を沸かせていました。書いた文字は「愛」と「絆」。お客様がボタンを押して選んだ文字を、「やすかわくん」が自らセットした色紙に書き、印鑑を押したら完成。来場した方々へプレゼントしました。



「愛」と「絆」を揮毫する
やすかわくん



MECHATROLINK 公開から10周年、そして次の10周年へ

MECHATROLINKは、高速な制御周期を必要とするサーボなど駆動系とI/O系のネットワークを1つに統合したものです。2003年に公開されてから、今年で10周年を迎えました。そのモーション制御性能の高さから半導体・液晶・LEDなど最先端技術をはじめ、工作機械・板金加工・巻線機械・ロボット・食品機械・薬品検査などの装置に幅広く採用されています。

MECHATROLINKを普及・推進するMECHATROLINK協会(以下、MMA)は、安川電機を含む幹事会社6社で運営されています。MMAは対応製品の開発メンバー及びユーザで構成されており、2013年5月末現在1600社を突破しました。特に近年では中国を中心にアジア地区でのメンバーが急増しています。



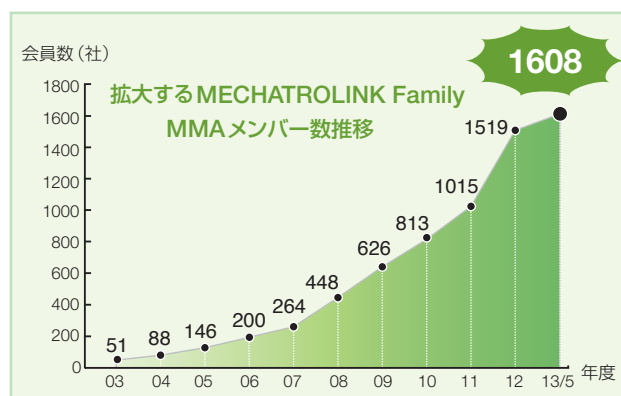
10周年記念ロゴ

MMAの10周年記念総会



今後、MECHATROLINKの高性能、高信頼性を謳い、グローバル推進をより強化していきます。特に、中国や今後の市場拡大と装置の高性能化が見込まれるASEANエリアにおいて、モーションフィールドネットワークとしてのデファクト化を目指します。これらを見据えて、IEC規格取得のほか、各国の規格対応にも取り組みます。

また、従来のネットワーク単体性能・機能向上だけでなく、ユーザにとっても、より安全に、より簡単に、より効果的に使えるネットワークを提供していきます。



■ お問い合わせ先: モーションコントロール事業部 事業企画部 ネットワーク戦略推進チーム TEL: 04-2962-7920 FAX: 04-2962-6138

安川電機製品技術サイト「e-メカサイト」 Facebookページを開設 <http://www.facebook.com/emechatronics>

2013年6月3日に、当社製品・技術情報サイト「e-メカサイト」のFacebookページを公開しました。既に2010年にリリースしたTwitterとYouTubeと合わせ、ソーシャルメディアを利用して、当社はさらに多種の情報を積極的に発信していきます。

Facebookページでは、難しいメカトロ技術を会話形式で分かりやすく紹介する連載コラム「豆大福先生に聞いてみよう!」(e-メカサイトメールマガジンで好評連載中)や、製品の写真・動画、展示会といったイベント情報などを掲載しています。特にイベント情報ページでは、イベントごとに用意されている「参加する」ボタンを押すことで、ご自分のカレンダーに自動的に登録する機能も備えています。また、タイムラインにはFacebookページへの投稿に加えて、TwitterやYouTubeへの投稿が自動的に掲載されるので、現時点では「すべての情報がここに集まる」仕組みになっています。これらの情報はパソコン、タブレット、スマートフォン、フィーチャーフォンなど、どんなプラットフォーム、OSでも閲覧することが可能です。「いつでも・どこでも・どんな機器でも」アクセスすることができます。

e-メカサイト Facebookページのトップページ

さらに、e-メカサイトFacebookページの「いいね」を押すと、わざわざアクセスしていただくことなく、これら情報のすべてがリアルタイムにお手元のタイムラインで届くようになります。

今後もe-メカサイトFacebookページでは製品情報や展示会情報、写真・動画など、様々なコンテンツを発信していきます。皆様の「いいね」をお待ちしています。



■ お問い合わせ先: モーションコントロール事業部 事業企画部 営業企画チーム TEL: 04-2962-5470 FAX: 04-2962-5913